

発刊にあたって



近年、大型で勢力の強い台風や従来の想定を上回る予測困難な集中豪雨などにより、河川の氾濫や土砂災害等が毎年のように全国各地で多発しています。

本市におきましても、令和元年房総半島台風等の際には、大規模停電の発生や住宅・建物等に甚大な被害が発生しました。また、首都直下地震も想定されている中、いつ大規模災害に襲われてもおかしくない状況となっています。

市では、これまで市民の皆様の防災意識を高め、防災・減災に役立てていただくことを目的として、令和3年5月に「木更津市防災ハザードマップ」を作成し全戸配布するとともに、市内に転入された方には市民課窓口にて配布してまいりました。

令和4年3月に千葉県が市内3河川(浮戸川・烏田川・畑沢川)の想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域を新たに公表したことから、防災ハザードマップを刷新し、洪水浸水・土砂災害エリアマップに反映しました。

大規模災害による被害を減らすためには、自分の命は自分で守る「自助」と、家族や地域で支え合う「共助」が不可欠でありますことをご理解いただき、本マップを日ごろの防災対策にご活用いただきますようお願いいたします。

令和6年3月 木更津市長
わたなべ よしひろ
渡辺 芳邦

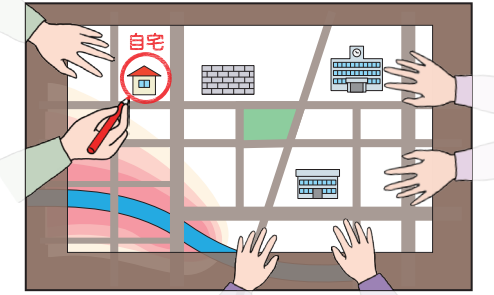
目次・索引

- 防災ハザードマップの使い方 …… 1
- 避難に関する情報 …… 2
- わが家の防災対策 …… 3
- 風水害に備えて …… 4・5
- 地震対策 …… 6
- 火災対策 …… 7
- 津波対策 …… 8・9
- 木更津市全域図 …… 10・11
- 洪水浸水・土砂災害エリアマップ①～⑭ …… 12～39
- 小櫃川浸水継続時間図 …… 40・41
- 矢那川浸水継続時間図 …… 42・43
- 津波浸水想定区域図 …… 44
- 高潮浸水想定区域図 …… 45
- 揺れやすさマップ …… 46
- 液状化マップ …… 47
- ため池決壊浸水想定区域図①② …… 48・49
- 指定避難所・指定緊急避難場所
津波避難ビル等一覧表 …… 50・51
- 家族の避難計画 マイ・タイムライン …… 52・53

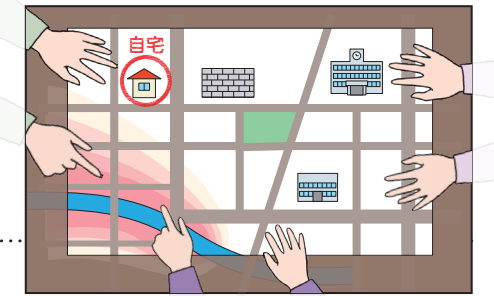
防災ハザードマップの使い方

このハザードマップには、普段から災害リスクを認識したうえで、自分が知っておくべき「危険箇所」「避難所・緊急避難場所」、「避難経路」、「家族との連絡方法」などの必要な情報を書き込んで、「自分だけのハザードマップ」を作成しましょう。

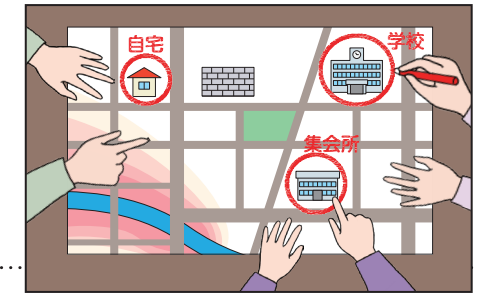
1 自宅の位置を確認する
まず、自宅の位置に印をつけましょう。



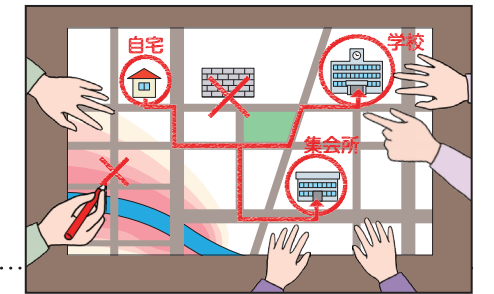
2 洪水浸水や土砂災害などの危険を確認する
災害ごとのハザードマップを見て、自宅周辺が災害の危険区域になっていないか確認してください。



3 避難する場所を災害ごとに確認する
たとえば、浸水が予想される場合は浸水想定区域にある避難所は開設されないなど、災害によって開設する避難所・緊急避難場所は変わってきます。50ページの「指定避難所・指定緊急避難場所」で、災害別に開設する避難所を確認し、どのような災害が起きたときはどこに避難するのか決めておきましょう。
*災害の種類によっては利用できない施設があります。

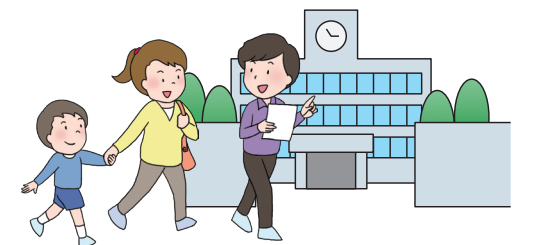


4 安全な避難経路を考える
3で決めた避難所・緊急避難場所までの経路を考えましょう。早めに避難するのが一番ですが、すでに荒天となってしまった場合は「浸水の危険のある場所」を避ける、地震による避難の場合は「ブロック塀等の危険な場所を避ける」など、安全な経路を見つけておきましょう。



5 避難について家族や近所の人と話し合う
「周辺の危険箇所」「避難する場所」「避難経路」などについて、家族や近所の人と話し合っておきましょう。いざというときには、あわてず、声を掛け合って、最善の避難行動がとれるように心構えをしておきましょう。

6 自分たちの目で避難経路を確認する
避難所・緊急避難場所までの経路を、実際に家族や近所の人たちと歩いてみましょう。マップ上では気が付かなかった危険箇所や注意点など記録しておきましょう。



7 避難時の持ち出し品などを準備しておく
52ページの「家族の避難計画マイ・タイムライン」を参考に、避難するときの持ち出し品など、必要なものを準備しておきましょう。



防災訓練に参加しましょう。その際には、この防災ハザードマップを持参ください。